

**銚子市事業承継・創業支援ラボ**  
**令和7年度活動報告レポート**

1. 銚子市事業承継・創業支援ラボ運営協議会とは
2. 農林水産商工部会の活動サマリー
3. シティプロモーション部会の活動サマリー
4. 事業承継金融部会の活動サマリー
5. ゼロカーボン推進部会の活動サマリー
6. 次年度計画

# 銚子市事業承継・創業支援ラボ運営協議会とは

## 目的

地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制を構築するため、地域における多様な主体の積極的な参画や連携を促し、地域資源を活かした創業・事業承継を推進するとともに、中小企業や小規模事業者などの脱炭素ビジネスが持続自走できる環境を整備します。域外から創業者を呼び込むために地域を挙げたグリーン・ブルーシフトを掲げつつ、国内トップクラスの食と脱炭素のポテンシャルを最大限に活かした創業支援機能を構築します。それらをスタートアップなどの「課題解決層」や、U I ターンを志向する「関係人口層」の創業者に向けて情報発信します。「事業継承・創業支援ラボ」による脱炭素経営のメリットを生かした自走性、持続性に優れた経営を支援していきます。

## 活動内容

本協議会は、上記の目的を達成するため、次の活動を行います。

1. 脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成に関すること
2. 地域資源を活かした創業・事業承継支援に関すること
3. 中小企業等における再生可能エネルギー・省エネルギー導入支援に関すること
4. その他目的を達成するために必要なこと

## 令和7年度事業計画

- ・銚子のポテンシャル・地域資源を活かした創業・事業承継が推進できる体制を構築
- ・ラボの施策が有効に機能
- ・国内の創業予備軍に対し銚子の魅力を発信



銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、銚子電力株式会社、銚子市による発起

# 各部会の目標

## 農林水産商工部会

- ・地域での食のグリーンシフトへの理解の深化と機運の醸成
- ・「食×グリーンシフト」を掲げる国のみどり戦略等と連動した取組の検討・提案ができる場づくり
- ・1次産業（特に農業、漁業）に従事する、従事しようとする人が集い、地域課題について議論できる場づくり

## シティプロモーション部会

- ・見学ツアーやアクセラレータープログラム等での発信企画の開始
- ・東京銚子会の実施

## 事業承継金融部会

- ・支援機関（金融機関）と関係機関（中小機構、引継ぎ支援センター、よろず支援拠点等）との連携
- ・事業承継支援を契機にあらたなビジネスモデルを創出し雇用を拡大、自社の省エネ・脱炭素化の促進

## ゼロカーボン推進部会

- ・ゼロカーボン公的支援メニューの周知
- ・（仮称）ゼロカーボンアワードの検討・開催
- ・市民・事業者向けのゼロカーボン支援・設備導入等のメニュー化検討・実証・効果検証
- ・高校生や大学生と連携したゼロカーボンの推進

**農林水産商工部会**

## 高校生・大学生を対象としたワークショップの開催（3回）

各団体と事業承継・創業支援ラボ運営協議会について、互いの活動内容や目指すゴールについて意見交換し、「創業のまち、銚子」やグリーン・ブルーシフトの実現に向けて、農林水産商工部会と学生がどのように連携していくかを共に考え、より実践的な活動へと発展させていくための相互理解を深めました。  
また、高校生に留まらず、専門性の高いテーマを持つ千葉科学大学との連携に向け、今後の共同プロジェクトの土台を構築しました。

### 【詳細】

第1回（5月28日開催）

千葉県立銚子商業高等学校 ビジネス研究部

参加者：高校生6名、他5名

第2回（6月11日開催）

千葉県立銚子商業高等学校 課題研究会

参加者：高校生11名、他6名

第3回（12月11日開催）

千葉科学大学生

（コラーゲン含有資源を有効活用するためのプロジェクト学習登録学生）

参加者：大学生8名、他9名



## 認定創業支援等事業計画の変更

### 【変更前】

銚子市が特定創業支援等事業の証明書を発行するために必須となる「創業スクール」は、銚子商工会議所が年1回（1月）開催するものに限定されていました。

### 【変更内容】

創業支援等事業計画について、千葉県信用保証協会が開催する創業スクールも、特定創業支援等事業の証明書の対象となるよう改訂しました。

### 【成果】

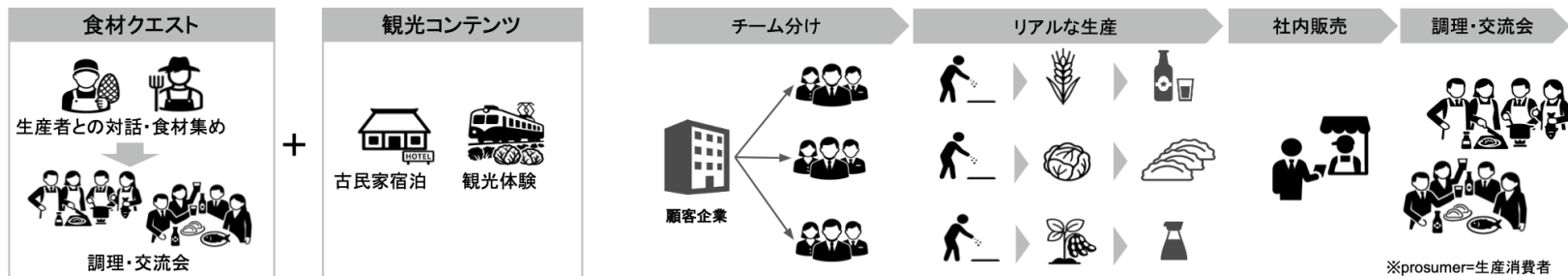
- ① 支援の機会拡大: 認定対象に、年2回（7月、1月）開催の千葉県信用保証協会のスクールが加わりました。
- ② 利便性の向上: 特に7月開催の機会を活用できるようになり、すぐに証明書を取得したい創業希望者にとって、受講の機会が早まるなど、支援策の利便性が大幅に向上しました。

## シティプロモーション部会



# 地域商社設立

銚子における地域商社としてAREYOUGOING 株式会社を設立。代表取締役には坂尾英彦、取締役佐久間快枝が就任。農水産業体験を通じて企業研修と地域活性化を両立させる革新的なプログラムを事業として展開し、銚子市の豊かな一次産業資源を活かし、チームビルディングと学びを融合した体験型ワークショップを企画・運営。



## 農業体験



キャベツ収穫体験などを通じて、一次産業の現場を体感。農家との交流から持続可能な農業のあり方や課題解決の知恵を学びます。

## 漁業体験



銚子漁港・市場見学や漁師との交流を通じて、水産業の実態と魅力を体感。早朝からの漁の様子や元気あるセリの現場、鮮度維持の工夫など、地域経済を支えるリアルな漁業現場を学びます。

## チームビルディング



地元食材を活用した調理体験や自然アクティビティを通じてチームの絆を深めます。普段のオフィス環境では見えない同僚の新たな一面を発見し、協働の質を高めるきっかけに。



# 地域商社によるクラウドファンディング始動

銚子における地域商社としてAREYOUNGOING 株式会社の設立に伴い、CAMPFIREにてクラウドファンディングを実施。「HUB & FLAG プロジェクト」の推進により地域に眠るヒト・モノ・コトを繋ぎ直す“ハブ”となり、魅力あふれる銚子の未来に“旗”を立てることを目的としてクラウドファンディングで協力者・応援者を募集。



## 【地域商社設立】地域を繋ぎ銚子の未来に旗を立てるプロジェクト

AREYOUNGOING まちづくり・地域活性化 千葉県



現在の支援総額  
**3,070,000円**

102%

目標金額は3,000,000円

支援者数

**220人**

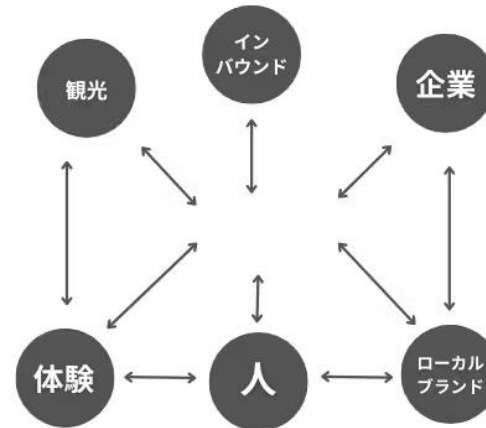
募集終了まで残り

**終了**

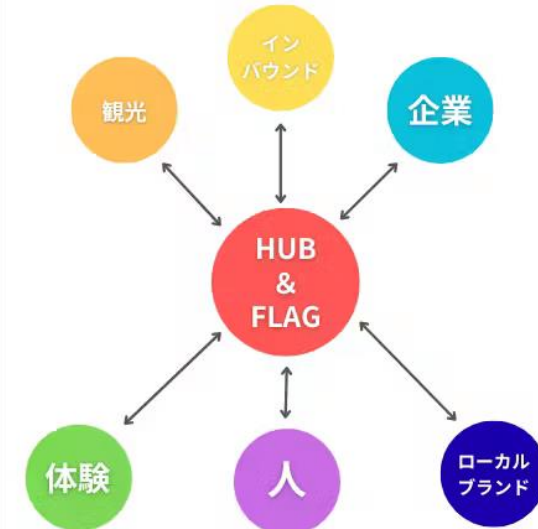
このプロジェクトは、2025/11/24に募集を開始し、220人の支援により3,070,000円の資金を集め、2025/12/30に募集を終了しました

もう一度プロジェクトをやってほしい 12

**before** 各個人・各事業者が  
各々の発信



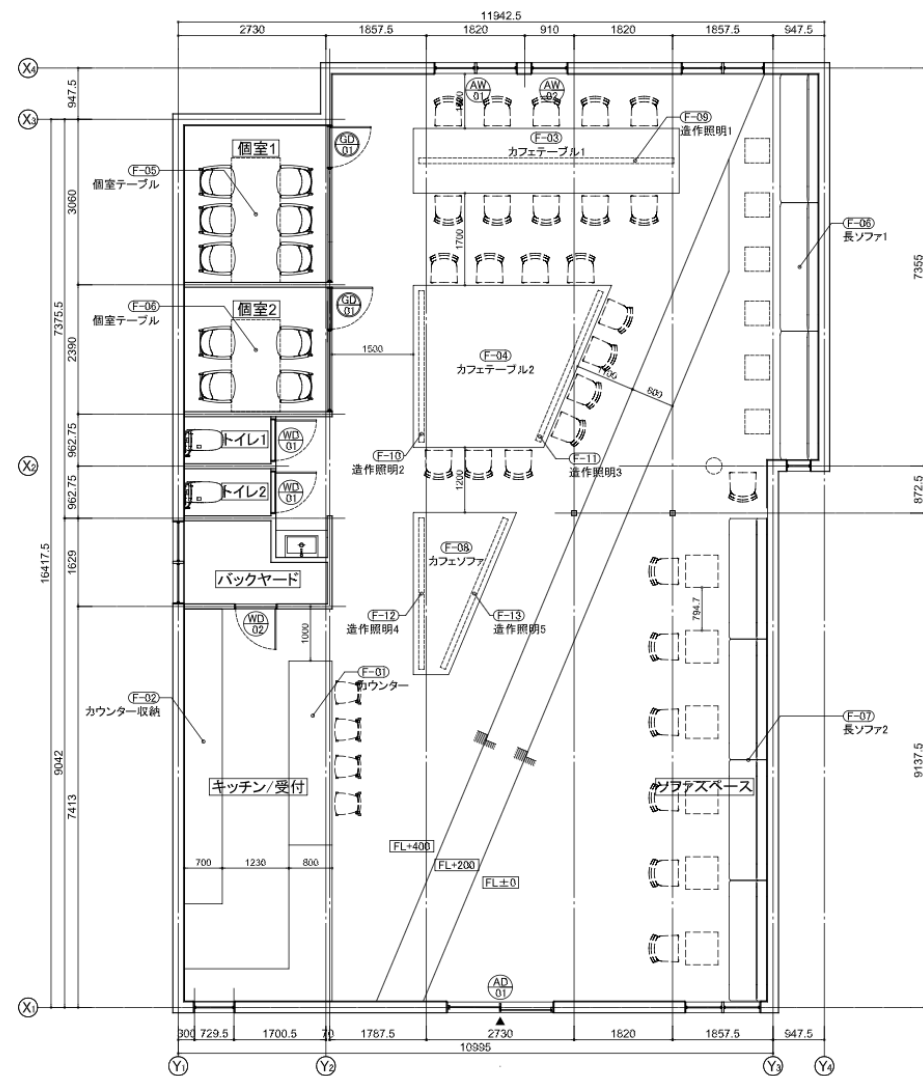
**after** 地域商社がハブとなり  
責任感を持って銚子を全国に発信



# インキュベーション施設 開設計画推進

大樹不動産株式会社が主導し、駅前のJRが保有する場所を借用し、インキュベーション開設に向けて計画を推進。  
令和8年2月より施工開始、令和8年7月に開設予定。

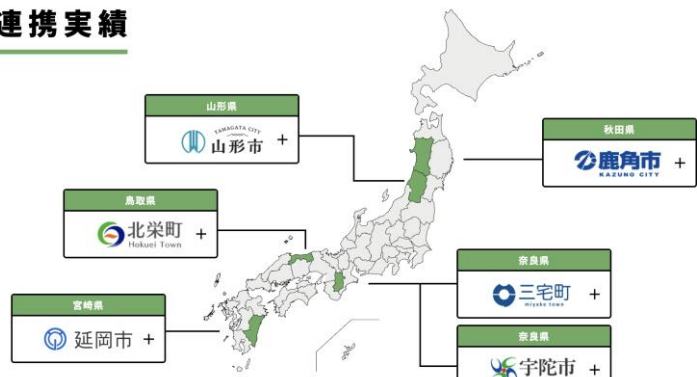
プレスリリース：<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000>



# 大樹不動産・高木ビルを含めたインキュベーション施設における連携に向けて

東京を中心に複数の商業ビル、レジデンス、レストラン、コワーキングスペースを運営する高木ビルと来年度に開設する銚子のインキュベーション施設との連携を通じて、銚子と東京の会員および関係人口の交流強化、コミュニティマネジメントの知見の提供、銚子のポップアップストアの東京での開催など、東京との連携を強化していく狙い。高木ビル代表の高木秀邦氏も過去銚子へ来訪、越川市長とオンラインで接続したイベントも開催した実績あり。

## 連携実績



## 地域を超えたつながりから生まれるもの

BIRTHと合同で「延岡の味覚に会いに行こう!」を開催しました。東京の麻布十番にいながら、延岡の美味しいお酒と食べ物を通じて、延岡を知るイベントです。50人以上が集まる大盛況なイベントとなり、これまで繋がりのなかった方々に延岡の良さを届ける貴重な機会となりました。



## 秋田県鹿角市の首都圏における活動拠点

鹿角家U25(鹿角出身、市外在住の25歳以下の会)というコミュニティづくりのお手伝いをしています。鹿角を東京から盛り上げるための作戦会議を開催。首都圏における活動拠点として、BIRTH LABを活用し、鹿角の課題解決や鹿角への移住者を増やすべく定期的に交流イベントを開催しています。



## コワーキングスペースの開業サポート



首都圏と宇陀市との人材交流や地域活性化のきっかけ作りを支援すべく、BIRTHが培ってきたコミュニティづくりのノウハウを共有すると共に、宇陀市のサテライトオフィスうだ「SOUDA」開業のサポート、運営アドバイザー、ロゴデザインなどのクリエイティブ領域に参画しました。



# 銚子東京会

「事業承継・創業支援ラボ運営協議会」が主催となり、本市のUターン、起業創業・事業承継などを推進する交流イベントを開催。今年度は令和8年2月28日(土)に銚子市で実施。昨年度は東京銚子会として、令和7年3月22日(土)に実施。会場は東京都の認定インキュベーション施設であるBIRTH LAB(麻布十番)。今回の銚子東京会では、令和7年度の事業報告や次年度以降の計画、地域商社やインキュベーション施設のプレゼンも行った。

【主催】  銚子市、事業承継・創業支援ラボ

## 事業承継・創業支援ラボ 銚子東京会

【会場】 旧サトーマルキオフィス(銚子市中央町)

**2/28** (土) 2026  
13:00~17:00 **参加無料**

銚子市での移住・定住・就職・起業  
Uターン・地域おこし協力隊・関係人口

### TIME SCHEDULE

13:30	14:00	14:30	15:00	16:00
開会あいさつ 開催案内	令和7年度報告 次年度計画案	プレゼンテーション 地域商社・Uターン新会社 インキュベーション・包括連携協定 ほか	トークセッション 1部・2部	閉会あいさつ 写真撮影



### 事業承継・創業支援ラボ 銚子東京会

リターン起業・2年の歩み  
**谷川 晃熙**  
Tokiyori.cafe 店長

地域商社のスタート  
**望月 瑛司**  
AREYOUGOING 株式会社

銚子インキュベーションセンター「E1」の開業  
**和泉 大介**  
リレイ株式会社 代表取締役

【会場】 旧サトーマルキオフィス  
**2/28** (土) 2026 **参加無料**  
13:00~16:00

【主催】 事業承継・創業支援ラボ (本協議会構成団体)

### 事業承継・創業支援ラボ 銚子東京会

多辺田 貴大  
(有)ウエルネスサービス 代表取締役

銚子の先輩経営者による  
トークセッション

谷川 晃熙  
Tokiyori.cafe 店長

石毛 麻里子  
Lindo-tomaco.Farm 代表取締役  
「お野菜クリニック」とまりこ食堂 代表

【会場】 旧サトーマルキオフィス  
**2/28** (土) 2026 **参加無料**  
13:00~16:00

【主催】 事業承継・創業支援ラボ (本協議会構成団体)

# 銚子東京会の様子



## 事業承継金融部会

# 公的ADと連携した銚子版事業承継モデル構築と支援機関担当のCNセミナーの実施

事業承継分野の関係者連携として独立行政法人中小企業基盤整備機構と千葉県事業承継引継ぎ支援センターを講師に迎えて銚子版の事業承継振り返りシートを作成し、営業担当者向けに研修を実施しました（銚子信金6/6、銚子商工6/4）。

追加ヒアリングで「省エネに興味があるか」を必須項目としました。

また、引き出しガイドの仮説では後継者の4割が新たな取組に積極的に挑戦する意向があり、脱炭素経営を推進していくためには後継者とリレーションを図ることが大切です。

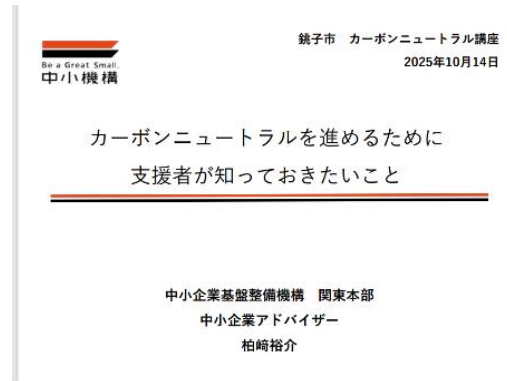
そこで今までは現経営者へのヒアリングのみでありましたが、後継者に対して「引き継いだ後、やってみたいことはありますか？」という項目も追加し、脱炭素に繋がられるようにしました。

## 追加ヒアリング

事業承継の具体的な時期は決まっていますか？（経営者）  
事業承継について一番悩んでいることは何ですか？（経営者）  
事業承継計画の作成支援を希望されますか？（経営者 or 後継者）  
省エネに興味がありますか？（経営者 or 後継者）  
引き継いだ後、やってみたいことはありますか？（後継者）

一方で、脱炭素への興味を引き出すには、ただヒアリングするのではなく、事業者の利益につながるような絵図を描いて、それを伝える必要があります。そのためには支援担当者の人材育成がより重要になってきます。

今年度は独立行政法人中小企業基盤整備機構を講師に迎えて営業担当者へカーボンニュートラルセミナーを実施しました。（銚子商工7/18、銚子信金10/14 銚子信金開催分はラボメンバー参加）



# クラウドファンディング支援体制の構築

創業、第二創業者の資金調達ニーズは金融機関からの融資調達だけでなく、クラウドファンディングによる資金調達が徐々に増加しています。しかし、クラウドファンディングを成功させるためには商品・サービスのクオリティだけではなく、

①プロジェクトページの作りこみ、②プロジェクトページ公開後の広報活動が大切になっています。

そこで事業承継・創業支援ラボで①②の支援を実施し、「創業のまち、銚子」としてラボメンバーそれぞれの強みを活かした「銚子クラファンサポート体制」を構築していきます。

## 「挑戦が生まれ、応援が広がる銚子へ」

CAMPFIRE

創業・事業承継の挑戦や、脱炭素ビジネスへの取り組みを、地域全体で後押しするために、ラボメンバーが連携したクラウドファンディングのサポート体制を整備します。挑戦しやすい環境が整うことで、銚子の未来をつくる新たな挑戦が次々と生まれる地域を目指します。



▲銚子市事業承継・創業支援ラボ挑戦を育てる！クラウドファンディング連携スキームのご提案

## ゼロカーボン推進部会

# ゼロカーボン支援メニューの周知

補助周知用チラシを作成し、市役所のほか、銚子信用金庫、銚子商工会議所、銚子商工信用組合の4施設に配架。銚子市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の周知を図りました。

## 【令和7年度補助金申請実績】

- ・太陽光発電設備・・・8件
- ・窓の断熱改修・・・3件
- ・蓄電池・・・26件
- ・エネファーム・・・0件
- ・電気自動車・・・2件
- ・V2H・・・2件

**銚子市のエコな補助金**  
 「銚子市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金」  
 地球温暖化対策を推進するため、太陽光発電システムや電気自動車等を導入する方に予算の範囲内において設置費用などの一部を補助します。

◆ 補助対象設備及び補助金額

<b>住宅用太陽光発電システム</b> 1kWにつき <b>1万円</b> (上限 <b>5万円</b> )	<b>窓の断熱改修</b> 補助対象経費の <b>4分の1</b> (上限 <b>8万円</b> )
<b>定置用リチウムイオン蓄電池システム</b> 上限 <b>7万円</b>	<b>家庭用燃料電池システム(エネファーム)</b> 上限 <b>10万円</b>
<b>EV・PHV</b> 上限 <b>10万円</b> (V2H併設の場合 上限 <b>15万円</b> )	<b>V2H充放電設備</b> 補助対象経費の <b>10分の1</b> (上限 <b>25万円</b> )

設備を導入する住宅に一定の条件があります。必ず市ホームページで詳細をご確認ください。

◆ 補助金申請の流れ

- 1 交付申請 (申請者)
- 2 交付決定通知 (市)
- 3 工事着工 (申請者)
- 4 実績報告 (申請者)
- 5 交付確定通知 (市)
- 6 請求 (申請者)
- 7 振込 (市)

◆ 申請期間 令和8年3月2日(月)まで  
 予算額に達した時点で期限を待たずに申請を終了いたします

【お問合せ】  
 銚子市 企画課 洋上風力推進室  
 ☎ 0479-24-8912

詳しい対象要件や必要書類等は市ホームページをご確認ください

## 株式会社バイウィルと包括連携協定

令和8年2月16日に、銚子市・銚子信用金庫・銚子商工信用組合・株式会社バイウィルの4者は、「ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定」を締結しました。J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、事業の推進等を通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルの実現に向け、環境価値に関する情報・ノウハウ等の提供、環境価値を活用した新たなビジネスモデルを創出するため、4者が連携し、J-クレジットの創出及び活用を進めるとともに、新たな事業・サービスの創出に取り組みます。市内で創出したクレジットを市内事業者に販売することにより、「地産地消」によって地域の脱炭素化を促進します。



## ゼロカーボンに関する勉強会の開催

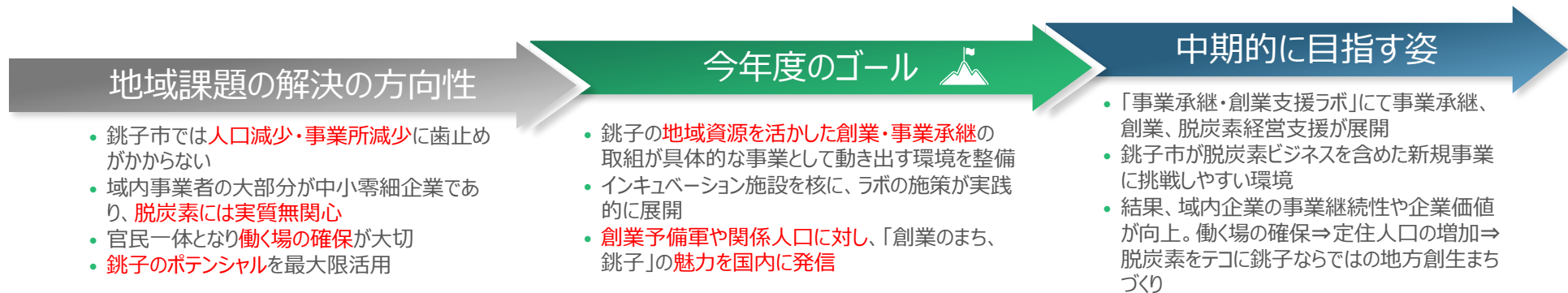
ゼロカーボン推進部会では、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入に関し、次世代型太陽光電池であるペロブスカイト太陽電池の導入可能性や省エネの導入を通じた新たな施策について研究・検討を進めています。令和7年8月29日に、ゼロカーボンに資する先進的な取組に関する知見を深めるため、外部から講師を招き、勉強会を開催しました。

### 【テーマ】

- (1)ペロブスカイト太陽光による新ビジネスのチャンス到来
- (2)省エネアクションを通じた経営コスト低減と省エネクレジット市場へのアプローチ

## 次年度計画

# 令和8年度 銚子市事業承継・創業支援ラボ運営協議会 事業計画案



## 主な取組

	(令和8年度) 4月	7月	10月	1月	3月
農林水産商工部会		銚子の地域資源を活かしたWSの拡大			評価・検証
		セミナー・ビジコンの開催			
シティプロモーション部会		社長輩出プロジェクト企画・実施			
		インキュベーション機能開始	まちづくり大学設立・コース実施		
事業承継金融部会		クラウドファンディング支援スキームの構築・運用			活動報告
		事業承継支援銚子モデルの運用			
ゼロカーボン推進部会		Jクレジット創出推進			
		市内企業の脱炭素取組ヒアリング・アワード実施検討/再エネ・省エネ導入支援メニュー整備			

## 足元の課題

創業・事業承継支援の実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業・事業承継支援の取組を具体的な案件創出につなげる仕組みが不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インキュベーション施設を活用した創業支援プログラムの実施</li> <li>創業スクールやビジネスイベントを通じた創業予備軍の発掘</li> <li>官民連携による創業支援推進会議及び事業承継推進会議（仮称）の開催</li> </ul>
運営予算の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営予算を確保できる仕組みが不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金、ふるさと納税の活用</li> <li>イベントやプログラムを通じた事業収入の確保</li> </ul>
脱炭素経営支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素経営支援を実際の企業活動につなげる仕組みづくりが不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Jクレジットの活用、脱炭素先行地域の事業と連携</li> <li>再エネ・省エネ導入支援メニューの整備、周知</li> </ul>

脱炭素先行地域の対象：水産エリア(川口町、明神町、黒生町の銚子漁港区域)、エネルギー供給エリア(見晴台、長塚町、柴崎町)

主なエネルギー需要家：戸建住宅(1,056戸)、民間施設(185施設)、公共施設(6施設)

共同提案者：日本風力開発(株)、(株)千葉銀行、銚子市漁業協同組合、(株)銚子漁業共生センター、銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、高橋水産(株)、(株)大一奈村魚問屋、銚子電力(株)、(株)渋谷潜水工業、エクセルギー・パワー・システムズ(株)、(株)Freezo

## 取組の全体像

風況に恵まれた地域特性を背景に、風力発電のノウハウを有する大手事業者と地元事業者・金融機関等が連携して発電事業会社を設立し、大型陸上風力発電を導入。発電事業で得た電力・収益で**基幹産業の水産産業を支援**するため、**冷凍・冷蔵施設の冷熱需要を制御する仕組み(魚でレスポンス)を構築**。変動性のある**風力発電の効率的運用(変動リスク低減)とエネルギーコスト低減を実現**する等、漁獲・保管・加工・販売等の各段階で脱炭素化と持続可能性を高める取組を漁協や水産加工協同組合等の関係者と連携して推進。さらに、陸上・洋上風力発電事業の地域展開を通じて、風力関連産業の創出・拡大や人材育成を進め、**漁業・水産加工中心から新たな産業モデルへの転換**を図る。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① **大型陸上風力発電設備**(4件、約17,000kW)・蓄電池(1件、約1,000kW)を導入。従前より風力発電が導入されていた用地を活用し、システムの容量不足リスク低減や風況調査の合理化を行う等、**設備導入・運用の実現可能性を高める工夫**を実施



陸上風力発電設備(既存)

- ② 多様な主体で構成される「事業承継・創業支援ラボ」と協働し、再エネ導入に係るメリットを提示する等の支援を行い、戸建住宅への太陽光発電設備(100件、計400kW)を官民連携で導入

- ③ 商工会議所、地元金融機関、地元の学生等の様々な主体が参画する「銚子市脱炭素シンポジウム」を東京大学と連携し開催。ワークショップを行う等、**市民・事業者の理解醸成・行動変容**を促進

### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 東京大学発のスタートアップ企業と連携し、水産エリアの冷凍・冷蔵施設へ**デマンドレスポンスシステム(魚でレスポンス)**を実装
- ② 「銚子協同事業オフショアウインドサービス(株)」や大手風力事業者等と連携し、陸上・洋上風力発電の設計・建設・運転・メンテナンス等に関わる地元人材を育成
- ③ 陸上風力発電等の収益を地域の自然資本再生と新産業の創出に向けた研究、洋上風力関連事業等に再投資

### 3. 取組により期待される主な効果

- ① 陸上風力発電等の収益を還元し、水産産業・農業・民生部門等の課題解決や脱炭素化の取組を推進し、**地域全体の活性化**を実現
- ② 漁獲・保管・加工・販売等の各段階でサステナビリティを追求した取組を推進し、**水産産業の持続可能性・付加価値向上**に貢献
- ③ 電力依存度の高い水産エリアでのデマンドレスポンスにより、風力発電の変動の吸収による最大限の地産地消と**電力コスト軽減による経営安定**に貢献。さらに、本取組で得た**知見・ノウハウを市内外の漁港や水産加工団地に展開**
- ④ 脱炭素を成長機会とし、発電事業の収益還元や陸上・洋上風力事業の地域展開により、関連産業の創出・拡大や人材育成を進め、**漁業・水産加工中心から新たな産業モデルへの転換**を図る

### 4. 主な取組のスケジュール

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
発電会社設立	→					
陸上風力発電設備導入					→	
蓄電池導入					→	
「事業承継・創業支援ラボ」による戸建住宅への太陽光発電設備等の導入支援						→
「銚子市脱炭素シンポジウム」による市民・事業者の理解醸成・行動変容促進						→
冷凍・冷蔵施設へのデマンドレスポンス実装						→
風力発電のメンテナンス等に関わる地元人材の育成						→